



道修町まちづくり協議会 通称:The 道修町倶楽部
事務局 541-8505 大阪府中央区道修町 3-2-10 田辺三菱製薬株式会社内
Tel:06-6205-5140 Fax:06-6205-5121
Eメール:the-dosyomachiclub-ml@ml.mt-pharma.co.jp
Web サイト:<https://doshomachi-club.org>

ご挨拶

第3号の内容

ご挨拶

1 道修町通再生プロジェクト

- ①照明灯・車止め（協議会最終案）
- ②歩道設置（最終案）
- ③地域景観づくりへの取組み
- ④今後のスケジュール

2 屋上ワイナリープロジェクト

3 神農祭前週祭（11/15）

本年5月の第4回定時総会で、道修町まちづくり協議会（通称：The 道修町倶楽部）の新会長に就任いたしました大橋でございます。

平素は、道修町のまちづくり活動に多大なるご理解とご協力を賜りまして、本当に有難うございます。

当協議会では、大阪市と協力して、道修町通2丁目・3丁目沿道の無電柱化と道路整備事業の実現に向けて検討を進めてまいりましたが、この度、照明灯と車止めのグレードアップに関する地元負担等の課題にも目処がつき、協議会としての道路整備最終案が固まりました。また、これを契機に、道修町通の景観づくりへの取組みも前に進めていきたいと考えております。

そして、この内、「歩道設置」には、沿道地権者さま全員からの歩道設置への賛同が、大阪市から「地域景観づくり」を検討する推進団体としての承認を得るためには、沿道建物の半分以上の関係者の賛同が、各々必要となります。

つきましては、説明会および沿道地権者さまへの個別説明をさせていただきますので、ご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

道修町まちづくり協議会

会長 大橋 達夫

1 道修町通再生プロジェクト

「くすりのまち道修町の歴史と未来が調和したまちなみを維持・発展させる」ことをコンセプトに、1～3の3つの目的の実現に向けて、2021年3月を目標に、無電柱化と道路整備事業の検討を進めています。

● 道修町通再生プロジェクト

- ・ くすりのまち道修町の歴史と未来が調和したまちなみを維持・発展させる

無電柱化事業

道路整備事業

〔船場建築線内を活用〕

1. 無電柱化を進め、景観向上と災害時リスクを低減する

2. 人に優しいフラットなみち、人の賑わいの舞台となるみちをつくる

3. 多様な歴史が共生する魅力あるまちなみを演出する

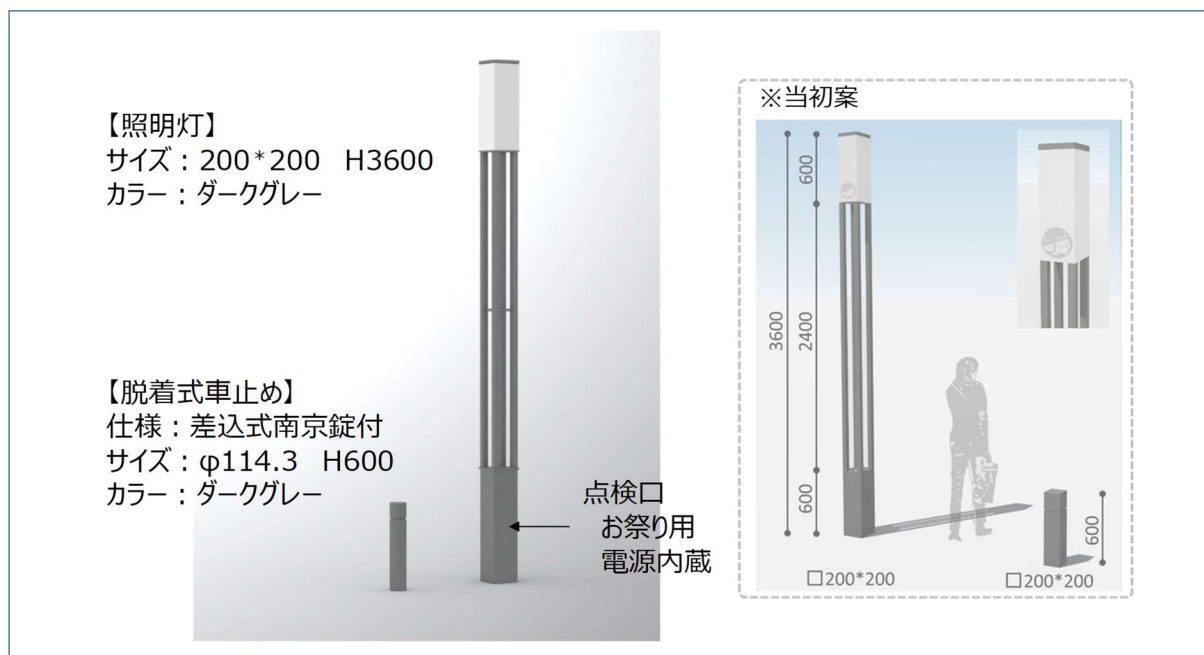
- ・ 対象地域：道修町通2丁目・3丁目沿道（1丁目・4丁目は次の目標）
- ・ 目標時期：2020年度末：プロジェクト完成

道修町景観づくり協定（対象地域：道修町通2丁目・3丁目沿道からスタート）

① 照明灯・車止め（協議会最終案）

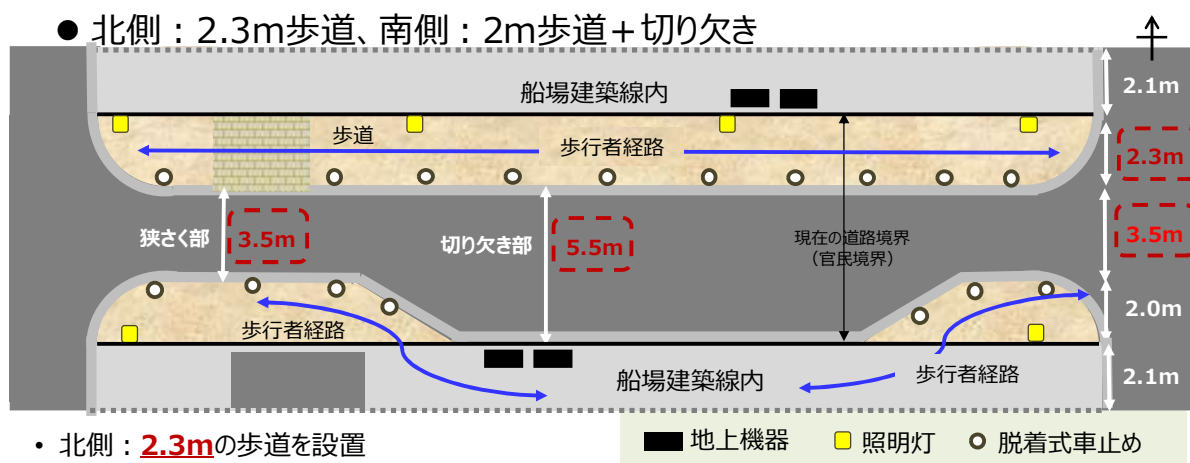
まちづくり瓦版第2号（2018年10月30日）では、プロジェクトのコンセプトに合致したデザインの照明灯と脱着式車止めを「寄付金」を募集してグレードアップする方向で検討を進めている旨ご説明しておりました。

しかし、その後、大阪市と協議の結果、大阪市の「かんまち事業グレード」として、以下のイメージの照明灯（地元負担無し）と車止め（協議会の一部負担によって脱着式にグレードアップ）を設置する方向で、照明灯の仕様等について最終調整を行っています。



② 歩道設置（最終案）

まちづくり瓦版第2号でご説明した道路整備案では、北側歩道 2.4m（車道 3.4m）の案になっていましたが、道路管理者と交通管理者との協議により、南北筋からの車両の右左折時の軌道を検討した結果、**北側歩道 2.3m（車道 3.5m）**に見直すことになりました。

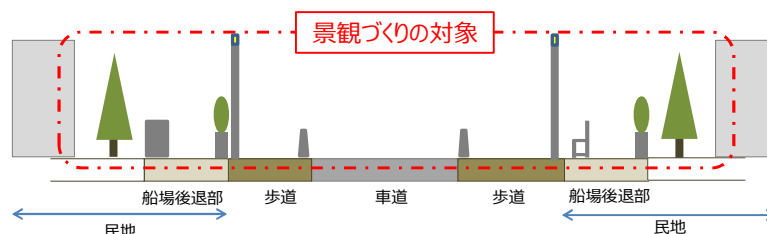


- ・ 北側：2.3mの歩道を設置
- ・ 南側：2.0mの歩道を設置 ＋ 切り欠き（船場建築線内を歩行可能な部分）
 - 船場建築線内を含む連続的な歩行空間を確保
- ・ 照明灯：歩道上の民地側に設置
- ・ 脱着式車止め：歩道上の道路側に2.5m間隔で設置
- ・ 歩車道間段差：可能な限り最小限の段差とする

③地域景観づくりへの取組み

「無電柱化・道路整備」を契機に、以下の通り、道修町の景観づくりを進めていきたいと考えています。

1. 活動区域：道修町通 2丁目・3丁目沿道
 - 「道修町通再生プロジェクト」による道修町通2丁目・3丁目沿道区域からスタートし、その後、その活動区域の拡張を進める。
2. 活動の趣旨・目的：
 - 道修町通の無電柱化や道路整備を契機に、船場後退部や建物前空地等の民地の「余白のしつらえ」を中心に、その活用方法やまちに相応しい工作物と建築物のデザイン（色彩と照明）等を景観ルールとして設定・運用することにより、くすりのまちの歴史と発展の舞台となってきた「道修町通」を「ひとに優しい賑わいのあるみち」としてさらに発展させ、ひいては、道修町全体のさらなるブランドと価値向上を図る。
3. 検討体制：
 - 「景観部会」と「景観づくり検討チーム」を新設して検討を進める。



なお、この取組みは、大阪市に「地域景観づくり推進団体」の認定請求を行い、大阪市の支援制度を活用して進めていきたいと考えています。そのためには、対象地域の建物の半分以上の関係者の賛同が必要となります。ご賛同とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

④今後のスケジュールについて

2019年度	
9月	■ 地元説明会 9/26（金）①10：00～ ②14：30～ ■ 2丁目・3丁目沿道地権者個別説明 ● 大阪市長に「地域景観づくり推進団体」の認定請求
10月	□ 第1回臨時総会（10/中旬） ■ 道修町通再生プロジェクトの整備方針案 ■ グレードアップ方針と資金手当案 ■ 大阪市との「事業協定書」案 ● 「地域景観づくり推進団体」認定請求（事後承認） ● 「景観部会」ほか景観検討体制設置の件
	■ 大阪市との事業協定書締結（道修町通2丁目（中央・東街区））
11月-	■ 道修町通2丁目（中央街区、東街区）の道路整備工事着工、グレードアップ費用支払
2020年度	■ 電線共同溝工事、道路整備工事 完了
2021年度	● 「地域景観づくり協定」締結、大阪市長への認定請求（予定）

工事スケジュール

	2019年度	2020年度
電線共同溝工事	道修町通2丁目（西・中央・東街区） 道修町通3丁目（西・中央・東街区）	道修町通3丁目（西・中央・東街区）
道路整備工事	道修町通2丁目（中央・東街区）	道修町通2丁目（西街区） 道修町通3丁目（西・中央・東街区）

2 屋上ワイナリープロジェクト

日本バルク薬品（株）、田村薬品工業（株）、両本社ビル屋上で生育したぶどうの収穫が行われ、ワイナリーでワインの醸造プロセスが始まりました。2018 年 4 月にプロジェクト開始して以来、今回が初の収穫で、来年 1 月頃には、道修町発のワインが完成する予定です。



日本バルク薬品（株）様の収穫風景



田村薬品工業（株）様の収穫風景

3 神農祭前週祭(11/15)

- 日 時：11 月 15 日（金）18：00～20：00
- 場 所：田辺三菱製薬株式会社 大阪本社 13 階・14 階
 - ① 道修町地元交流会：13 階〔参加費：@2,000 円〕
 - 対 象：道修町で働いている方、住んでおられる方、道修町のことをもっと知りたい方、個人参加でも大丈夫ですので、一度参加してみてください。（会員・非会員不問）
 - ② 道修町若手交流会：14 階〔参加費：@500 円〕
 - 対 象：道修町に興味を持っていますが、上記の交流会には気が引けて参加できないと思われる方、若いメンバー同士で交流がしたい方、こちらに参加して下さい。

道修町まちづくり協議会の会員を募集しています！

- (1) 正会員：土地または建物を所有される方／対象区域内で事業を行っている方（会費）年額 1 口 5,000 円、1 口以上
 - (2) 個人会員：対象区域内で専ら居住を目的として居住されている方（会費）負担義務無し
 - (3) 賛助会員：上記のいずれにも該当しない方で、本会の目的に賛同し、本会の活動の円滑な実施に協力しようとする個人、団体または企業（会費）年額 1 口 10,000 円、1 口以上
- 道修町を未来に向けてさらに歴史と魅力あふれるまちへとつなげるため、わたしたちと共にまちづくり活動に参加・協力・支援いただける方は、事務局までご連絡下さい。